定規でしっかりおさえる

きれいにまっすぐカットするには定規のおさえがとても大切で、ポイントをまとめました。慣れると考えずにできます

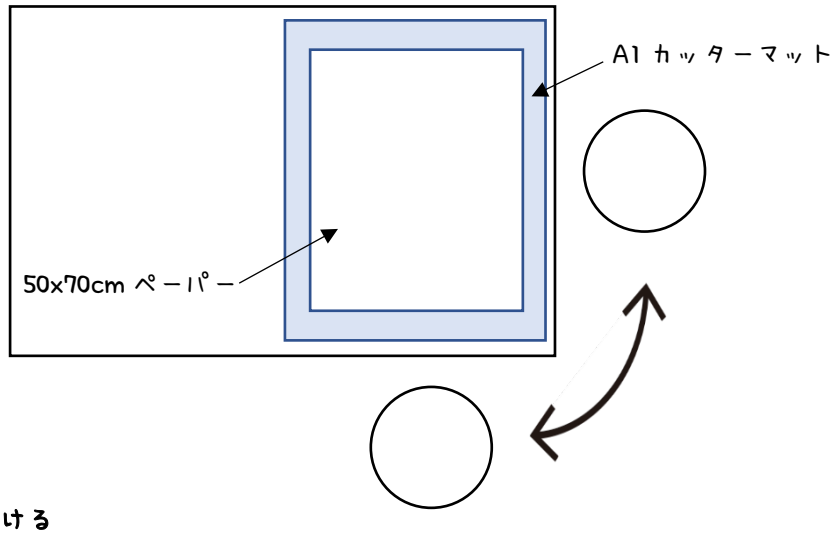
1. 定規のまっすぐの側面を使う

斜めの側面でカッターを使うと、刃が定規に乗り上げてしまい、カットしにくいです

定規には斜めの側面とまっすぐの側面、まっすぐの側面に金属が貼ってあるものがあります。まっすぐの側面が金属になっているのがカッティング向けの定規です

2. カッターは上から下へ、紙が大きいうちは自分がL字に動く

基本は上から下に動かすとよいです。左から右は曲がりやすいです。ペーパーを動かして押さえ直すのは手間が増えるので、テーブルをL字に使い、自分が動くのが早いです



3. 定規の裏表に気をつける

一見両面同じように見える定規(10cm 定規)でさえ、裏返しでは不思議とすべりやすく、力がかかりません。いつも上が表になっているよう使うとよいです

4. 左右均等に力をかける

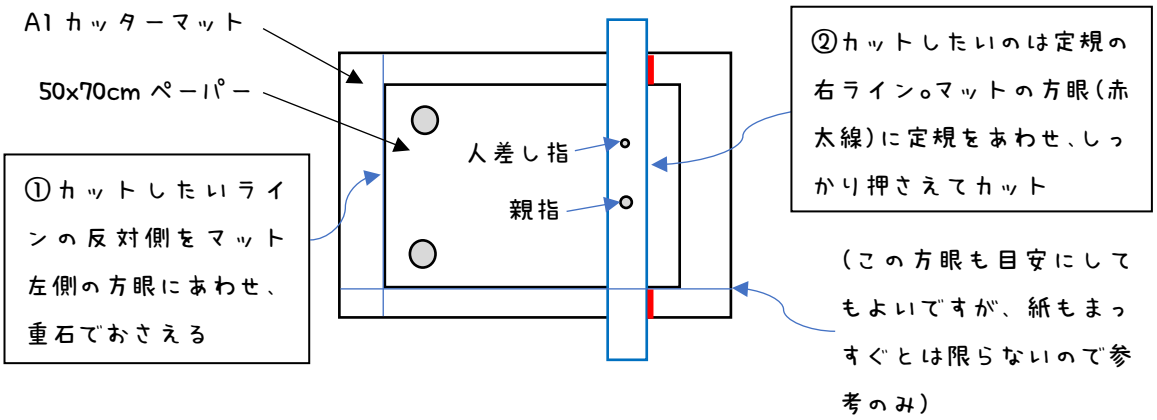
カットしたいラインに対し、できるだけ左右均等になるよう定規を置き、親指と人差し指を広げ、これも左右均等になるよう置くと、上から下まできれいにカットしやすいです

5. 定規が押さえている面積を増やす

定規の面積をたくさん使って紙を押さえると楽です。定規の下に紙が少ししかないと力がかかりません。定規の幅が広いものは面積を増やし、しっかりと紙をおさえることができます。浮いているとおさえられないので使用場所に応じて定規を変えます

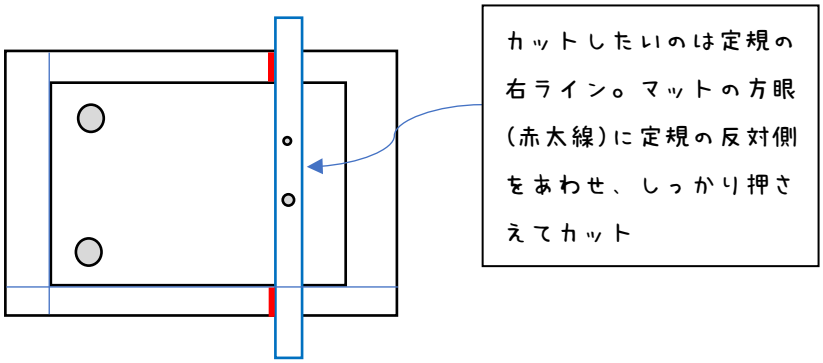
ペーパーカットの基本

50x70cm ペーパーを、何十箱分も次々カットしていくときにもカットしやすい基本を図式化してみました。右利きの人は右側でカットするとまっすぐカットしやすいので、①②の順にすすめるのがいちばん早くてきれいです。柄合わせ以外は悩まず①②とすすめられると、早く箱がつくれます。ペーパーが小さくなっても同じ、マットの中央寄りになるだけで、まず左をおさえてしまうとよいです。左利きの人は反転させて考えてみてください



★0.5cm をとりたいとき

1cm 方眼のマットで 0.5 をとりたいときは、3.5cm 幅の定規を使い、反対側を方眼ラインにあわせます



★重い定規を使う

一時的に手が痛くて押さえにくい時は、平らな定規の上に重石をのせると楽です

重い定規(定規+重石になっている重量定規)は定規を動かすときに重く、あと 1mm ずらしたいときにも抵抗がありますが、おさえる手の負担を軽減してくれます